

安全上のご注意 **使用前に必ずお読みください。**

注意

- キヤスティング(投げる)の時は、ペールを起こすことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで、周囲の人にけがをさせたりすることがあります。
- キヤスティング(投げる)の時、ストップバーのある機種では、ストップバーをONにして投げて下さい。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをすることがあります。
- ストップバーのある機種ではストップバーをOFFにして釣っているとハンドル等が逆転し手に当たりけがをすることがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。
- 糸を切るおそれがあります。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをすることがあります。
- 回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けがをすることがあります。

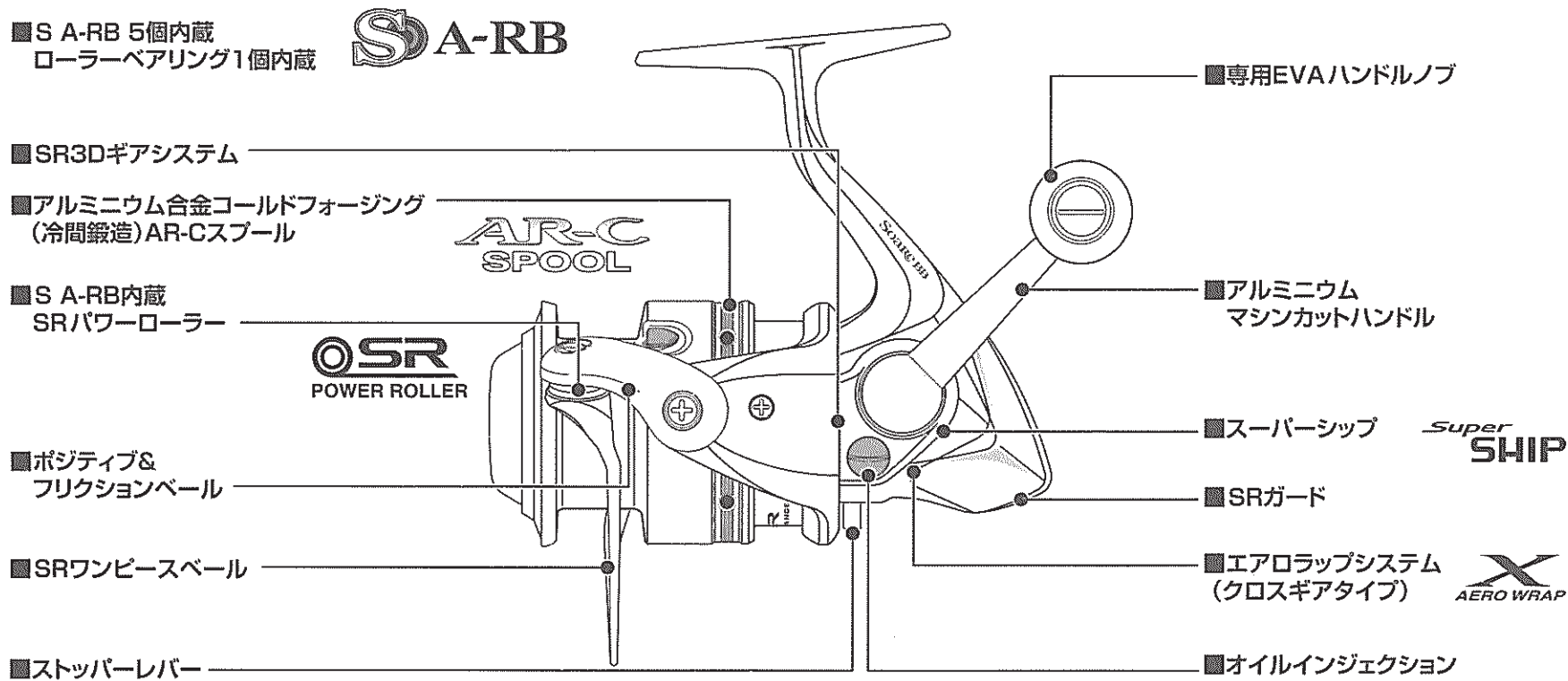
ARC SPOOL

Soare BB Soare BB 30

取扱説明書
SHIMANO

このたびはシマノ・ソアレ BB をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。シマノが提供するSRとは、SMOOTH・SILENT・STRONGのSに信頼性(RELIANCE)という軸でスピニングリールの完成度を徹底追求する姿勢の象徴です。ソアレ BB の機能を十分に引き出し、永らくご愛用いただくために、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願い申し上げます。

各部の名称と仕様



品番 商品コード 製品コード	ギア比	ドラッグ力 (N/kg)		自重 (g)	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	ベアリング数 (ボール/ローラー)	糸巻量	
		最大	実用				ナイロン (lb-m)	フロロ (lb-m)
ソアレBB C2000PGS 02813 5SD70B019	4.3	44.1/4.5	9.8/1.0	215	55	S A-RB 5 / 1	ナイロン (lb-m) 3-125, 4-100, 5-75 フロロ (lb-m) 3-110, 4-85, 5-65 PE (号-m) 0.6-150, 0.8-110, 1-80	
ソアレBB 30-2000HGS 02814 5SD70D021	6.0	39.2/4.0	19.6/2.0	250	81	S A-RB 5 / 1	ナイロン (lb-m) 3-125, 4-100, 5-75 フロロ (lb-m) 3-110, 4-85, 5-65 PE (号-m) 0.6-150, 0.8-110, 1-80	

- 製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- ボールベアリングには、従来のA-RBをシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にしたS A-RBを使用しています。
- 標準付属品
取扱説明書・分解図・リール袋・リールレンチ・スプール調整ワッシャー(右図) 糸止めシール

その他の機能

- ウォーターブルーフドラッグ
- フローティングシャフト
- スーパーストッパーII (ローラーベアリング1個内蔵)
- バイオフィットグリップ
- 海水使用
- シャワー洗浄OK
使用後はシャワーでの洗浄が可能です。水中には浸けないようにしてください。

●夢屋パーツ取り付け可能 (夢屋タイプ)

リールスタンド		ハンドルノブ
C2000PGS A	30-2000HGS B	A

リールスタンドを取り付ける際は別途ハンドル固定ボルト (05B102500:707102S2500) とワッシャー (ステラ1000:70725481000) が必要になります。尚、この場合はハンドル折り畳みができなくなります。
※詳細はシマノホームページでご確認ください。

定期メンテナンス

ベアリングの塩噛み

S A-RB (シールド耐塩水ベアリング) はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する「塩噛み」を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、

S A-RB ごと交換しなければ完全には解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

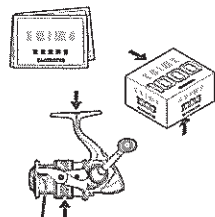
弊社サービスへご依頼下さい。

リールの状態は、使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、最寄りの販売店を通じて直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。

商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧ください。製品名と製品コードをお知らせください。(例/製品名:ソアレBB C2000PGS 製品コード:5SD70B019)
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。
- 修理に出される際には、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に (例/ストッパーが働かない) お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールの取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。(例/製品名:ソアレBB C2000PGS 商品コード:02813 製品コード:5SD70B019 部品番号:2 部品名:スプール)
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性があります。
- 商品コード / 製品コードの位置取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

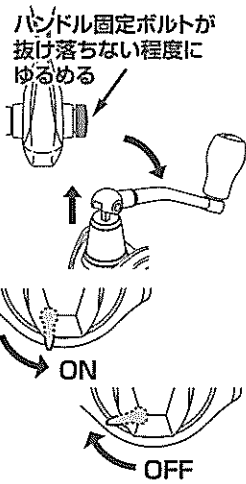


Soare BB Soare BB 30

使用前のご注意

■ハンドルの折りたたみ方法

ハンドルは反対側の固定ボルトによるネジ込み式になっています。たたむ時はハンドル固定ボルトをゆるめ、ハンドル軸をやや引き出し、本体側に倒してください。のばす時はたたむ時と逆にします。
※ハンドル固定ボルトをゆるめ過ぎると本体より抜け落ちますのでご注意ください。

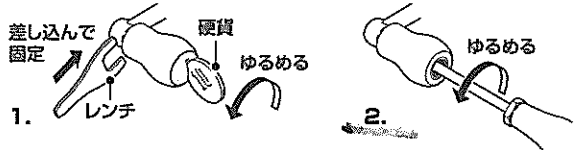


■ストッパーレバーの操作方法

通常は、ストッパー ON で使用します。
●ON 逆転止めが作動し、ハンドルは正転方向にしか回りません。
●OFF 逆転止めが解除され、ハンドルは正転、逆転どちらの方向にも回ります。

■ハンドルノブの取り外し方

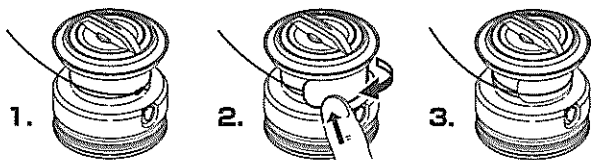
1. 付属のリールレンチで四角形のハンドル軸を固定して、硬貨でハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. マイナスドライバーでノブ内部のナットをゆるめて外します。



■糸止めシールの使用方法

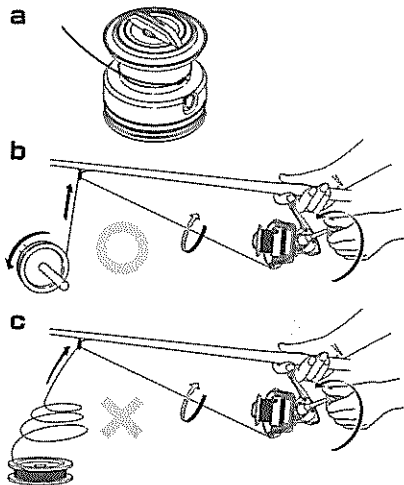
このリールには PE ライン用に糸止めシールが入っています。ラインの巻き始めに下記のようにお使いください。このシールを使用することでライン巻き始めのライン滑りがなくなり、PE ラインをスプールに確実に巻くことができます。

1. PEラインのチチチをスプールに締め込みます
2. この締め込んだラインの結び目の上にシールをピッタリと確実に貼ります。(指などで強く押してください。)
3. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。(最初は少しゆっくりと巻くようにします。)
4. PEラインは滑りやすく、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちり巻くことが必要です。



■糸の巻き方

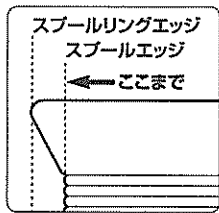
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図a)
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらう。適度(スプールに巻かれた糸にツメを押し込めない程度)なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図b)図cのようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱(抵抗熱)によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

スプールエッジまで巻かれることをおすすめします。(右図)
スプールのリングのエッジの位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合は AR-C スプールの性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



■糸ヨレについて

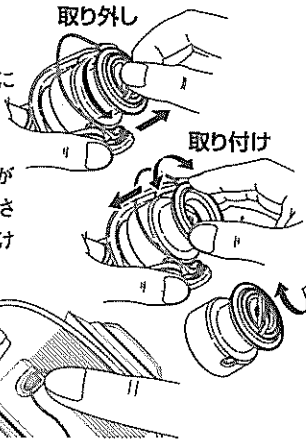
ラインローラー(SR パワーローラー)は、糸を巻き取る時に、糸のヨレを軽減させる役割をもちます。但し、下記のような状況によっては、ローラーの性能を発揮できず、糸ヨレが発生する場合があります。

1. もともと糸がヨれている時。
2. 仕掛けが回転して、ヨリがかかる時。
3. 非常に軽い仕掛けを巻き取り、ローラーが回転していない時。
4. その他糸にかかるテンションが低い時。
5. ドラグを多用した時。
6. キャスティング飛距離が短い時。

■スプールの着脱方法

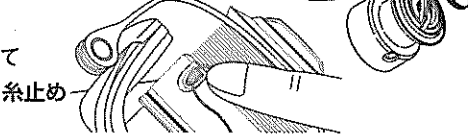
●取り外し方 ドラグノブを反時計回りに外れるまで回して下さい。

●取り付け方 スプールの左右に差しながら、完全に底当たりするまで押し込んで下さい。ドラグノブを時計回りに回すと締め付ける事ができます。



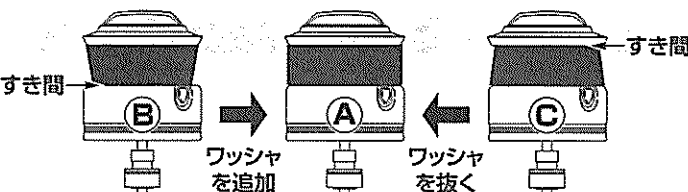
■糸の止め方

ツメの下側から糸を通して固定して下さい。



■糸巻形状の調整方法

初期設定はナイロンライン 4lb-100m で、下図 A のようにフラットになるように設定されています。巻き上げテンションは約 160g です。PE ラインは十分テンションをかけて巻き上げて下さい。スプールに巻かれた糸に、爪が食い込まない事が目安です。又、下記以外の号数の糸巻量は「仕様」をご覧ください。



●調整方法

上記の基準糸より直径の細いラインを使用すると上図Bの形状となり、逆に太い糸を使用するとCの形状となります。極端なB(=逆テーパー)形状やC(=順テーパー)は、ともにライントラブルの原因となります。付属のスプール調整ワッシャで、A(=フラットテーパー)に巻き上げて下さい。調整方法は下記の通りです。

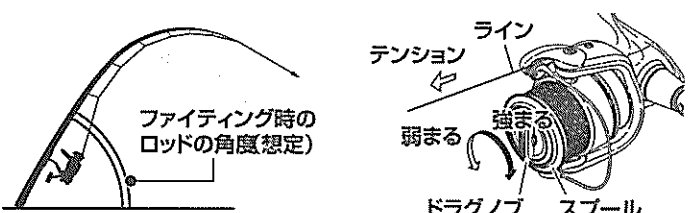
B形状の場合… 付属の調整ワッシャを0.25mmから追加して少しづつ増やしていき、Aの形状に近づけて下さい。
C形状の場合… 付属の調整ワッシャを0.25mmから少しづつ減らしていき、Aの形状に近づけて下さい。

付属しているスプール調整ワッシャは、0.25mm が 2 枚、0.5mm が 2 枚です。尚、使用糸の特性(長さ、編み方、表面コートの有無等)によって、同じ号数(lb 数)でも、糸巻量や糸巻形状が変化します。
※出荷段階では、基準ラインを使用した場合は特にA(=フラットテーパー)に巻き上げる為の調整は必要ありません。

■ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ(ラインブレイク)を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通して下さい。
2. ストッパーレバーを「ON」の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらドラグノブの締め付けを調節して下さい。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出して下さい。また、ドラグ力は「実用ドラグ力」の範囲で設定して下さい。



使用後のご注意

■保管上のご注意

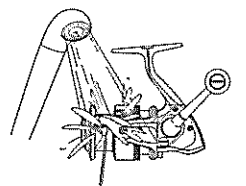
●海でのご使用後は、「使用後のご注意」「水没時の緊急措置」の方法で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外してください。
●塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に長時間放置されますと腐蝕を起こす可能性がありますので、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。

■必ず竿から外して下さい。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

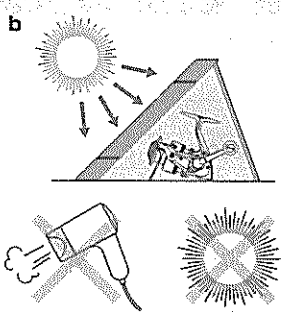
■水洗いして下さい。

まず、ドラグ内に水が入らないように、ドラグを締め込んで下さい。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いして下さい。(図 a) 温水はグリスを洗い流す恐れがありますのでおやめください。又、同様の理由で、リール本体を水没させないでください。



■乾燥させて下さい。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干しして下さい。その際ドラグをゆるめ、オイルインジェクションの注油口キャップを外すと効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引き起こします。お避けください。(図 b)



■注油して下さい。

オイルとグリスは下図を参考にいただき、それぞれ間違えないように噴霧して下さい。尚、グリス、オイルは弊社純正品(下記参照)をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。
※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。

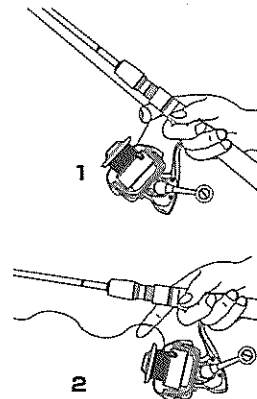
SP-003H(メンテナンスセット)	¥1,900
SP-013A(オイルスプレー)	¥1,050
SP-023A(グリススプレー)	¥1,100
DG01(リールドラグ部専用グリス)	¥800

※最寄りの販売店にてお問い合わせ下さい。
上記は2011年5月現在の品番及び税抜本体価格です。

使用中のご注意

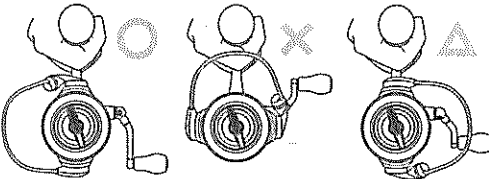
■キャスト方法

ベールを完全に起こし、図 1 のように人差し指に糸を引っかけて下さい。竿を振りかぶって、人差し指に感じる糸のテンションが最大になる時に、人差し指から糸を解放します。(図 2) その際、ドラグ力が低すぎると、スプールが逆転し指を切る可能性があります。ご注意ください。キャスト後、ベールを手で戻すか、ハンドルを正転させて(ハンドルオートリターン)巻き取りに入ってください。尚、ハンドルオートリターンの際、ハンドルを回す勢いが強過ぎると、ベールが戻り切らない事があります。



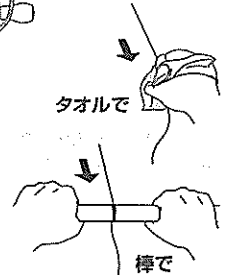
■キャストポジション

図の「X」の位置で思い切り投げると、ベールが戻って糸が切れる可能性があります。「▲」の位置はキャスト後、ハンドルオートリターンしにくい事があります。



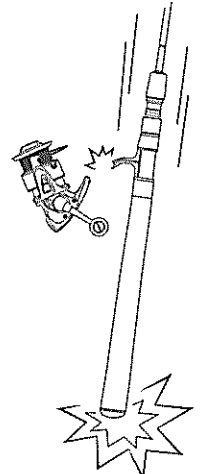
■根掛かりした時の対処方法

根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状のものに糸を巻き付けてゆっくりと引っ張るようにして下さい。ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。



■移動時のご注意点

タックルバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。特に、塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと、腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で、密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に放置されますと腐蝕を起こす可能性があります。



■落下にご注意下さい。

リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがありますのでご注意ください。(右図)



■水中での使用は出来ません。

水中での使用には対応していません。絶対におやめください。

水没時の緊急措置

万が一、リールを水没させてしまい内部が浸水した場合は、下記の応急処置をとってください。

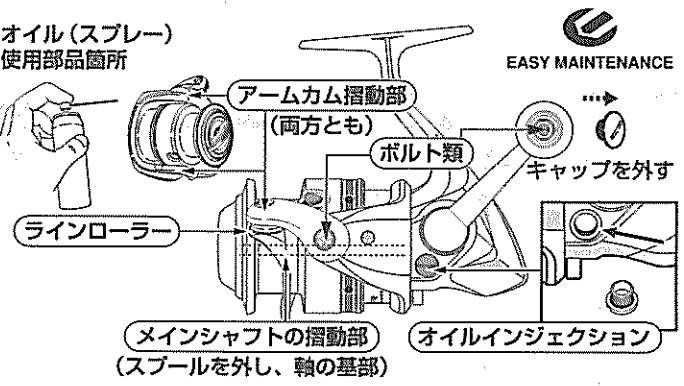
●淡水の場合

オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして水を抜き、十分に乾燥させた後、弊社純正オイルスプレーを1~2秒間注油して下さい。

●海水/汽水の場合

真水で水洗いをしてください。その後、オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして完全に塩水を抜き、内部が乾燥するのを待たずに、最寄りの販売店を通じて弊社サービスに修理品としてお預けください。

尚、オイルインジェクションからオイルを噴霧する頻度は、水洗い・乾燥後及び、釣行5回につき1度、または、次の釣行までの期間が1ヶ月以上ある場合に1度を目安にしてください。
又、1度の噴霧(注油)時間は約1秒です。注油後、注油キャップは必ずお閉めください。逆流したオイルで服を汚す場合があります。
ドラグ部にはシマノドラグ専用グリス(上記参照)以外は塗布しないでください。ドラグ専用グリスを必要の方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。
※オイルインジェクションからのグリススプレーの噴霧はお避けください。ストッパーがきかなくなる場合があります。



※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。